令和３年度　福島県中学校教育研究会音楽専門部　2022.3

音楽部報第 55 号

発行責任者　県中学校教育研究会音楽専門部長　須田　順子
事　務　局　福島市立福島第三中学校　滝沢美紀子

「音楽ができることの幸せを仲間とともに」

福島県中学校教育研究会
音楽部長　須田　順子

今年度は，研究主題「感性を働かせ，様々な音楽と豊かに関わる資質・能力を育むための指導はどうすればよいか」の３年次「音楽的な見方・考え方を成長させ，音楽と主体的に関わらせる学習活動の工夫」を副主題に掲げ，研究を推進して参りました。

今年度，主題研修会および福島県中学校教育研究協議会県北・相双大会は，書面開催となってしまい，皆様の実践や各支部の研究推進などについての発表を直接聞く場や協議し合う場がなくなってしまったことは，残念に思います。しかし，開催の形は以前とは異なりますが，コロナ禍においても，音楽部会の皆様の「音楽」の授業の成立に向けて，各支部・学校・生徒の実態を踏まえながら工夫した研究実践について，資料を通して互いに学び合えたことは，とてもうれしく思います。

県大会資料では，「ICT 機器を活用した音楽の授業の在り方」についての研究実践が多く，新たな挑戦を試みる先生方のパワーを感じました。Ｐ２には，各支部から提出いただきました資料より，皆様の実践について掲載させていただきました。再度，今年度の県大会要項資料をご覧いただければと思います。今年度は，書面開催でしたので，詳しくお聞きになりたい実践については，是非とも直接各支部代表者に問い合わせいただき，同じ音楽部会の仲間として積極的に学び合っていただければと思います。

主題研修会のために資料を作成し，ご提供いただきました各支部専門部長様や代表の皆様，ありがとうございました。また，県大会運営に多大なご尽力をいただいた県北・相双大会実行委員会および安達支部の皆様，資料をご提供いただいた県内各支部正会員の皆様，そして，授業を提供してくださった本宮市立本宮第一中学校の八代香苗先生に深く感謝申し上げます。

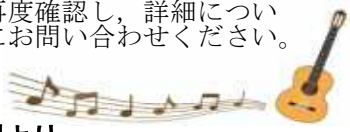
来年度からは，各支部から寄せられた研究主題や副主題をもとに，研究主題を「音楽的な見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の音や音楽，音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する指導はどうすればよいか」と決定いたしました。令和４年度(第１年次)の副主題は，「実感を伴う理解による知識や技能の習得につながる題材構成の工夫」です。Ｐ３に詳しく掲載されておりますので，ご一読ください。

令和４年度の県大会は，会津支部で開催され，会津若松市立第二中学校で授業公開が計画されております。各支部より中教研音楽部会の会員数などの現状についてのお話をいただいており，音楽部会としても，以前より分科会の持ち方について検討して参りました。そこで，来年度より新研究主題による研究が推進されることを踏まえ，令和４年度から「２分科会」【表現・鑑賞】に分けての協議ではなく，すべての領域を学び合う「１分科会」での開催といたしますので，よろしくお願いいたします。

さて，「皆さんはどうして音楽教師になりましたか」。私の音楽教師としての原点は，中学校の恩師との出会いにあります。「歌唱」中心の授業，「合唱部」では，夏はタンクトップと半ズボンで熱くご指導いただき，コンクールは白のスーツで指揮をしてくださった恩師の姿は，今でも忘れられません。音楽教師になり「音楽の魅力を伝えたい」「音楽を好きな子供たちを育てたい」と思い，さまざまな実践をしてきました。皆様の子供たちへの思いも，同じではないかと思います。子供たちにとって，今学んでいる音楽との「出会い」が，人生の「夢」につながるものかもしれません。新型コロナウイルス感染拡大に伴い，指導の在り方が問われている昨今ですが，「音楽」が，子供たちの豊かな人生に生かされるものとなるよう，仲間とともに学び・高め合う音楽部会がますます充実・発展することを願っております。

令和３年度
県中学校教育研究協議会
県北・相馬大会資料より

県大会中止のため協議することはできませんでしたが，各支部の実践について掲載いたしましたので再度確認し，詳細については各支部代表者にお問い合わせください。



１　表現分科会資料より

（１）ICT・ipad・タブレットを活用した授業

・旋律の創作活動を３年間の中の計画的に実践(タブレット使用)　〈福島〉
・タブレット（「ボイスメモ」「Garage Band」）を活用した条件に合う創作～　〈福島〉
・タブレットを使用して発声練習方法を調べ，自分たちの発声の改善に役立てる実践　〈伊達〉
・自分の名前を使って創作～タブレットを使用して　〈伊達〉
・合唱コンクール選曲や役割分担希望調査時のタブレット使用　〈伊達〉
・録音機器(タブレットやスマートフォン等)を活用した合唱指導「友～旅立ちの時」　〈安達〉
・タブレットを利用した合唱パート練習　〈安達〉
・グループでの意見交換・タブレットの活用による～夏の思い出～　〈郡山〉
・タブレットを活用しての創作～Garage BandでBGMをつくろう～　〈郡山〉
・「浜辺の歌」～タブレットを活用して～　〈田村〉
・「夏の思い出」～タブレットを活用して～　〈田村〉
・「アルトリコーダー」～タブレットやパソコンを活用して～　〈田村〉
・リズムアンサンブル「クラッピングラプソディ」～ICTを用いて～　〈田村〉
・タブレットを活用した授業　さまざまな音楽文化～日本の音楽～　〈北会津〉
・「ギター」～ipadを活用したギターの表現活動～　〈相馬(鑑賞資料に記載)〉
・ICT機器(タブレット)を活用した合唱練習〈いわき〉

（２）歌唱指導の授業

・パートリーダー体験・言葉かけ集の活用による合唱活動～卒業式歌「花束」～　〈郡山〉
・「花」～自分の音域による歌唱表現　〈田村〉
・パートの役割を理解して合唱しよう　〈北会津〉
・「日本歌唱の表現」拍子を感じ取るために，指揮を振りながら歌唱する活動　〈耶麻・両沼〉
・音楽を理解して歌唱する授業　〈南会津〉
・コロナウイルス対策により歌唱が制限された時の授業「手拍子合唱」　〈南会津〉

（３）創作の授業

・ディズニー映画の映像に合うリズム創作　〈福島〉
・平調子の旋律を用いて，調弦を体験～箏を演奏しよう「さくらさくら」～　〈郡山〉
・箏の魅力～郷土の音楽の理解と創作　〈北会津〉
・「鑑賞と器楽表現」箏を使って，身近な短歌に合う旋律を創作する活動　〈耶麻・両沼〉
・創作「言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう」「南中サウンドロゴを作ろう」　〈いわき〉

（４）リズム中心の授業

・リズムゲーム　リズムアンサンブル　〈北会津〉
・楽譜を読み，覚える楽しさを味わうリズム打ち授業　〈南会津〉
・コロナ禍の中での音楽表現「全学年共通の楽曲によるリズムパーカッションの取組」　〈南会津(鑑賞資料に記載)〉

２　鑑賞分科会資料より

（１）ICT・ipad・タブレットを活用した授業

・「フーガト短調」～タブレットの活用して　〈郡山〉
・タブレットPCを学習活動のツールとして用いた授業『能「羽衣」』『魔王』『ボレロ』　〈岩瀬〉
・「四季より春」ICTをまとめに活用　〈石川〉
・「映画音楽」「春」～ロイロノートを活用して〈相馬〉

（２）「魔王」の授業

・歌曲の表現の豊かさを感じ取って「魔王」(効果的な協働学習)　〈福島〉
・「魔王」（音楽に対する価値を広げる授業）〈郡山〉
・「魔王」（作曲者の違いによる聴き比べ）　〈石川〉
・「魔王」（歌唱表現の特徴や伴奏の効果）　〈東西しらかわ〉
・曲想と音楽の関わりを感じ取って聞こう「魔王」(作曲者の工夫)　〈北会津〉
・曲想と音楽の構造との関わりを理解して，その魅力を味わおう「魔王」　〈北会津〉
・コロナ禍の中での音楽鑑賞「魔王」（「さまざまな魔王」と題しての比較鑑賞)　南会津〉
・「魔王」～各登場人物の表現の聴き取り〈いわき〉

（３）「春」(「四季」より)

・「四季」より「春」第１楽章　〈伊達〉
・音楽の特徴に注目しながら，情景を思い浮かべて聴こう「春－第１楽章－」　〈北会津〉
・「春」～思考ツールやシンキングツールを活用～　〈相馬〉

（４）「ボレロ」「惑星」

・曲の構成のよさや面白さを味わいながら鑑賞しよう「ボレロ」　〈伊達〉
・「名曲リレー」「リズムタイム」から『ボレロ』のリズムに結びつける授業(義務教育学校の授業)〈岩瀬〉
・音楽の構造と曲想との関わりを理解して鑑賞しよう「ボレロ」（打楽器パートのアンサンブル活動を取り入れた)　〈北会津〉
・鑑賞の罠「ボレロ」（虫食い形式のワークシート作成・活用)　〈南会津〉
・音楽の構造と曲想との関わりを理解して「ボレロ」組曲「惑星」から第１曲「火星」　〈東西しらかわ〉
・シンキングツールを使った授業『惑星』　〈岩瀬〉

（５）「交響曲第５番ハ短調」

・音楽の形式とその魅力について味わおう「交響曲第５番ハ短調」（協働学習)　〈福島〉
・コロナ禍の中での音楽鑑賞「交響曲第５番ハ短調」(様々な指揮者の楽曲比較鑑賞・審査員)　〈南会津〉

（６）「展覧会の絵」

・「展覧会の絵」（曲の特徴の理解)　〈石川〉
・組曲「展覧会の絵」（音楽・曲想と絵，グループ意見交換)　〈耶麻・両沼〉

（７）「ブルタバ」「アランフェス協奏曲」

・「ブルタバ」（楽器の音色の違いを聞き取る）〈郡山〉
・「アランフェス協奏曲」（ギター演奏から鑑賞へ）　〈耶麻・両沼〉

（８）総合芸術・映画音楽等

・自由な発想を主体にし幅広い角度での活動として取り組ませた授業『歌舞伎「勧進帳」』　〈岩瀬〉
・総合芸術に親しもう「アイーダ」第２幕第２場　〈東西しらかわ〉
・能「羽衣」（七五調と能)　〈北会津〉
・イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう「トムとジェリー」音楽から，「ゴジラ～キング オブ ザ モンスターズ」から　〈安達〉
・イメージをもたらす映画音楽の秘密を探ろう～グループ活動を生かした主体的で対話的な学び〈相馬〉

（９）さまざまな鑑賞

・今日の１曲～さまざまな音楽ジャンルの紹介〈伊達〉
・ポピュラー音楽図鑑　〈伊達〉

令和４年度以降の

研 究 推 進 計 画

県中教研音楽部会研究推進委員会

１　研究主題

音楽的な見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の音や音楽，音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する指導はどうすればよいか

２　研究主題設定の理由

新学習指導要領の全面実施に伴い，その趣旨を生かして研究主題を設定した。

「音楽的な見方・考え方を働かせる」とは，生徒が自ら，音楽に対する感性を働かせ，音や音楽を，音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え，捉えたことと，自己のイメージや感情，生活や社会，伝統や文化などとを関連付けて考えることである。

生徒が「生活や社会の中の音や音楽，音楽文化と豊かに関わる」ためには，歌う，楽器を演奏する，音楽をつくる，聴くなどの活動から，我が国の音楽に愛着をもったり，我が国及び世界の様々な音楽文化を尊重したりすることが大切になる。そのためには，生徒一人一人が様々な音楽がもつ固有の価値を尊重し，その多様性を理解できるように指導することが求められる。新学習指導要領には，音楽的な見方・考え方を働かせて学習することにより，三つの柱である「知識及び技能」の習得，「思考力，判断力，表現力等」の育成，「学びに向かう力，人間性等」の涵養が実現し，このことにより資質・能力が育成されると示されている。三つの柱を相互に関連させた学習の積み重ねを実践すれば，生徒は学んだことの意味や価値を自覚できるようになり，学習の有用性を認識することにもつながっていく。これらを踏まえ，音楽的な見方・考え方が，その後の人生においても生きて働くものとなるように，各校の実態に合った研究を，３年間を見通して進めていくことに期待したい。

３　年度ごとの研究副主題

○　令和４年度　副主題（第１年次）
　実感を伴う理解による知識や技能の習得につながる題材構成の工夫

○　令和５年度　副主題（第２年次）
　音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図る学習指導の工夫

○　令和６年度　副主題（第３年次）
　音楽に対する感性を豊かにする指導と評価の工夫

４　令和４年度の研究副主題について

「実感を伴う理解による知識や技能」とは，音楽的な見方・考え方を働かせ，他者と協働しながら，音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや美しさなどを見いだしたりして，生徒自身が身に付けた資質・能力のことである。この資質・能力を伸ばすためには，思考し，判断し，表現する一連の過程を大切にした学習及び評価の充実を図るように配慮することが重要である。

そのためには，題材などの内容や時間のまとまりを見通しながら，題材構成を工夫することが求められる。〔共通事項〕を要として各領域や分野の関連を図るようにするなど，学びの連続性や系統性などを考慮した上で，題材構成を工夫することが大切である。

研究にあたっては，これまで取り組んできた実践の上に立ち，さらに，生徒や学校の実態に応じ，題材ごとに生徒に育みたい資質・能力を明確にしたり，指導事項と〔共通事項〕を複数の指導内容や教材に関連付けて，題材構成を工夫したりするなど，確実な知識及び技能の習得を図る授業づくりの実践が望まれる。

５　研究内容

(1)　主体的・創造的に音楽活動に取り組ませる指導方法
(2)　魅力ある適切な教材の精選と題材構成の工夫
(3)　生徒一人一人の学習の成立を促す整合性・一貫性のある評価
(4)　音楽活動の質的な高まりにつながる言語活動
(5)　我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい音楽の多様性を理解することができるような指導方法
(6)　音楽活動における効果的なＩＣＴ等の活用

６　研究の方法・留意点

(1)　研究内容を念頭に置きながら，副主題に迫ることができるよう，領域に関わらず，各支部の実態に応じた研究を進める。
(2)　研究にあたっては，生徒の実態を捉えて具体的な仮説を設定することが望ましい。
　また，生徒の活動の様子や変容，研究の成果と課題がわかるようなまとめ方を工夫する。

７　県大会開催方部と発表方部

年度	開催方部	発　表　方　部
4	会津	福島　伊達
5	いわき	田村　東西しらかわ

○令和４年度の音楽部会場
〈全体会・授業公開・研究協議〉
　会津若松市立第二中学校

８　参考資料

○「中学校学習指導要領（平成２９年３月告示）」　（文部科学省）
○「中学校学習指導要領（平成２９年告示）解説音楽編」　（文部科学省）

令和３年度
県中教研音楽専門部組織

◆ 組　　織

役職名	支部名	氏　　名	勤務校
部　長	福　島	須田　順子	信 夫 中
副部長	郡　山	佐久間一晃	守 山 中
	東西しらかわ	小野里高広	東　　中
	耶　麻	佐久間　徹	会 北 中
	相　馬	松本　一宏	中村一中

◆ 支部音楽専門部長

支部名	氏名	勤務校
福　島	須田　順子	信 夫 中
伊　達	八巻　和浩	伊 達 中
安　達	佐藤　健夫	本宮一中
郡　山	佐久間一晃	守 山 中
岩　瀬	邊見　　浩	小塩江中
石　川	上野　康生	古 殿 中
田　村	榊原　康夫	都 路 中
東西しらかわ	小野里高広	東　　中
北会津	藤田　信一	若松四中
耶　麻	佐久間　徹	会 北 中
両　沼	佐藤　隆彰	昭 和 中
南会津	小寺　真紀	下 郷 中
相　馬	松本　一宏	中村一中
双　葉	小野美佳子	広 野 中
いわき	渡邊　昌和	錦　　中

◆ 事務局

役職名	支部名	氏　　名	勤務校
総　務	福　島	滝沢美紀子	福島第三中
庶　務	福　島	鈴木　祥子	飯 野 中
研究推進	福　島	田口　紀子	北 信 中
		本田　純也	岳 陽 中
会　計	福　島	鈴木香世子	渡 利 中
学習帳編集	福　島	鈴木　祥子	飯 野 中

以上の組織により，令和３年度運営をしてまいりました。ご協力ありがとうございました。

令和３年度
事　業　報　告

５月　６日（木）　総会（中止）・専門部総会
（パルセいいざか）
５月１８日（火）　県主題研修会（中止）
（郡山市中央公民館）
５月　下旬　主題研修報告会
（各支部中止）
７月　下旬　支部研究協議会
（各支部中止）
９月　３日（金）　県音楽祭第一部〈合唱〉
（録音審査：ＮＨＫ福島放送局内）
１０月　７日（木）　県中教研県北・相双大会
（本宮市立本宮第一中学校中止）
１０月２０日（水）　県音楽祭第二部〈合奏〉
（ふくしん夢の音楽堂）
１１月　中旬　県音楽祭第三部〈創作〉
２月　下旬　県中教研音楽部会報発行

令和４年度
事　業　計　画

５月１９日（木）　総会，支部専門部長会
（福島市）
５月　下旬　主題研修報告会
（各支部）
７月　下旬　支部研究協議会
（各支部）
９月　８日（木）　県音楽祭第一部〈合唱〉
（いわき芸術文化交流館アリオス）
１０月　６日（木）　県中教研会津大会
（会津若松市立第二中学校）
１０月１３日（木）　県音楽祭第二部〈合奏〉
（喜多方プラザ文化センター）
１１月　中旬　県音楽祭第三部〈創作〉
２月　下旬　県中教研音楽部会報発行

事業計画につきましては，各部の日程調整が済み次第明らかになりますので，現段階では大体の目安としてください。